

国際貨物量5%増、北米けん引

■IATA統計・7月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2026年7月の世界の航空貨物輸送量（貨物トンキロ＝CTK）は前年同月比3.9%増加し、国際線は4.7%増だった（表①参照）。供給量（有効貨物トンキロ＝ACTK）は全体で1.7%増、国際線で1.8%増にとどまり、需要の伸びが供給を上回った。貨物ロードファクター（LF）は全体で1.0ポイント上昇の46.0%、国際線で1.4ポイント上昇の51.5%となった。

地域別に航空会社の国際航空貨物輸送実績をみると、全地域でプラス推移した。中でも、北米系航空会社の輸送量が7.1%増と大きく伸長した。欧州系は4.6%増、アジア太平洋系は5.2%増、中南米・カリブ系は3.6%増だった。一方、中東系は1.8%増、アフリカ系は1.1%増にとどまった。

輸送形態別にみると、貨物機による輸送量は前年同月比13.9%増と大きく伸びた一方、旅客便のベリースペースを使う輸送は7.0%減少したという。

国際貨物を路線別にみると、最大市場のアジアー北米線（市場シェア23.5%）が9.2%増と最も大きく伸長した。欧州ーアジア線（同21.5%）は3.1%増、欧州ー北米線（同13.5%）は2.1%増、アジア域内線（同7.3%）は6.1%増だった（表②参照）。

一方、中東情勢を巡る混乱やネットワーク調整の影響などもあり、中東ーアジア線（同7.4%）は14.1%減、欧州ー中東線（同5.2%）は16.1%減となった。アフリカーアジア線（同1.3%）も14.7%減少した。

表① IATA世界航空貨物実績									
2026年7月実績(前年同月比)						2026年1～7月実績(前年同期比)			
(単位:%)	市場 シェア*	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)
総合(国際+国内)	100.0	3.9	1.7	1.0	46.0	4.6	1.9	1.2	46.3
アフリカ	2.1	1.1	4.1	▲1.4	45.8	9.4	0.1	4.0	46.6
アジア太平洋	35.8	4.1	3.0	0.5	49.5	7.9	5.3	1.2	47.8
欧州	21.4	4.4	1.3	1.5	51.1	5.6	3.5	1.1	54.3
中南米・カリブ	2.9	4.1	7.0	▲0.9	32.3	0.5	5.2	▲1.6	34.6
中東	13.2	1.7	4.0	▲1.0	44.1	▲7.8	▲8.1	0.1	44.7
北米	24.6	4.8	▲1.5	2.5	41.2	5.5	1.0	1.8	41.4
国際貨物	87.9	4.7	1.8	1.4	51.5	5.0	2.2	1.4	51.8
アフリカ	2.1	1.1	3.9	▲1.3	47.1	9.4	0.3	4.0	48.0
アジア太平洋	32.1	5.2	3.9	0.7	56.0	8.7	6.6	1.1	54.5
欧州	21.0	4.6	▲1.2	3.0	55.1	5.9	2.8	1.6	57.1
中南米・カリブ	2.5	3.6	6.1	▲0.9	36.4	1.2	5.0	▲1.4	39.2
中東	13.2	1.8	4.2	▲1.0	44.4	▲7.8	▲8.2	0.2	45.1
北米	17.1	7.1	▲1.1	3.8	49.5	6.7	2.2	2.1	49.2

*市場シェアは2025年のCTKベース
CTK=貨物トンキロ
ACTK=有効貨物トンキロ
貨物LF=貨物ロードファクター

注) 地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績レポートおよび一部レポートの無いところは推測に基づく。なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

7月の世界の貿易量は前年同月比7.5%増となり、製造業活動や輸出受注の改善も貨物需要を支えた。一方、ジェット燃料価格は前月比12.2%上昇し、前年同月比でも56.9%高い水準となった。

IATAのマリー・オーエンズ・トムセン上級副社長兼チーフエコノミストは、航空貨物の先行きについて「お

表② 主要レーンの2026年7月貨物輸送量成長率
(CTKベース、市場規模順)

路線	需要伸び率(CTK)	備考	市場シェア
アジアー北米	9.2%	6カ月連続増	23.5%
欧州ーアジア	3.1%	41カ月連続増	21.5%
欧州ー北米	2.1%	3カ月連続増	13.5%
中東ーアジア	▲14.1%	5カ月連続減	7.4%
アジア域内	6.1%	33カ月連続増	7.3%
欧州ー中東	▲16.1%	5カ月連続減	5.2%
アフリカーアジア	▲14.7%	2カ月連続減	1.3%

※市場シェアは2025年通年のCTKに基づく

おむね明るい」としつつ、燃料高や地政学的緊張、関税を巡る不透明感を注視する必要があると指摘した。